

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	畑 明寿
所属機関名	獣医学部 獣医学科
職位	教授
在籍年	8 年

教育の責任

獣医学部において、臨床検査学および公衆衛生分野の教育を担当している。主な担当科目は「動物臨床検査学」「動物内科看護学 B」「公衆衛生学 A」「動物感染症学」「基盤化学」などであり、獣医学科および獣医保健看護学科の学生に対し、基礎科学から臨床応用に至る教育を行っている。特に動物医療において重要となる臨床検査の理解と活用能力の育成、および人と動物の健康に関わる公衆衛生的視点の涵養を担っている。

教育の理念

動物医療に携わる専門職として必要な知識、技能、倫理観を備えた人材を育成することを教育の理念としている。学生が単に知識を習得するだけでなく、生命を扱う専門職としての責任を理解し、臨床現場や社会において適切に行動できる人材へと成長することを目標としている。また、臨床検査や感染症、公衆衛生に関する知識を通じて、人と動物の健康および福祉に貢献できる広い視野を持つ人材の育成を目指している。

教育の方法・方針

- ・ 国家試験レベルの知識と理解を身につけることを意識した講義設計を行っている。
- ・ 授業理解の定着を目的として定期的な小テストを実施し、学習内容の確認と学習習慣の形成を促している。
- ・ 実習科目では実技試験を取り入れ、臨床現場で求められる基本的技能を確実に習得できるようにしている。

教育の成果

小テストや実技試験については学生から「負担が大きい」という意見がある一方、「理解度の確認ができる」「実践的で役立つ」といった肯定的な意見も授業アンケートにおいて確認されている。定期的な確認試験の実施により、授業内容を継続的に復習する習慣が身についたという学生のコメントも見られる。

また、本学における愛玩動物看護師国家試験の合格率は第 1 期生から現在まで全国的に見ても高い水準を維持しており、教育活動の成果の一端を示していると考えられる。

今後の目標

学生が臨床現場で活用できる実践的知識と技能をより効果的に習得できる授業方法の改善を継続する。

また、国家試験をはじめとした各種資格試験の高い合格率を維持するとともに、学生の主体的な学習を促す教育方法の充実を図る。

根拠資料

- ・ シラバス
- ・ 小テスト問題
- ・ 実技試験課題
- ・ 配布教材（講義資料、スライド等）
- ・ 授業アンケート結果